

バージョンアップ前後の差分一覧

分類	項番	機能名	バージョンアップ前	バージョンアップ後
1.使用不可になった機能	1	OTP画面	スクリーンショット可	スクリーンショット不可
2.操作方法に変更あり	1	全機能（画面）	各画面の右上にマニュアルページ（外部サイト）に遷移するための「ヘルプ」ボタンが表示されていた。	各画面右上の「ヘルプ」ボタンは表示がなくなった。 「設定メニュー」の「ヘルプ」ボタンを押下することで遷移するように変更された。 エラー画面上では右上に「ヘルプ」ボタンが表示され、マニュアルページへの遷移が可能。
	2	アプリロック解除	ユーザ自身が設定した任意のパスワードでアプリロックを解除する。	端末のPINまたは生体認証を利用してアプリロックを解除するように変更された。
	3	初期設定	トークンが0件の状態で表示されるトークン追加用の画面。	現行版の「初期設定画面」にあたるものは、「トークン未登録画面」に変更された。（「3.新機能」項番1参照）
	4	設定メニュー	設定メニュー画面として表示。 以下の機能が利用可能。 ・トークン表示名設定 ・トークン追加 ・トークン削除 ・パスワード補正 ・アプリロック設定 ・プライバシーポリシー ・バージョン情報	ドロワー表示されるように変更。 ■以下の機能がトークンメニューへ移動。 ・トークン表示名設定 ・トークン削除 ・パスワード補正 ■以下の機能が別の機能へ移動。 ・バージョン情報（詳細は項番8バージョン情報に記載） ■以下の機能が設定メニューとして利用可能。 ・トークン追加 ・トークン選択（トークンを1件以上追加時） ・言語設定 ・外観モード設定 ・アプリロック設定 ・プライバシーポリシー ・オープンソースライセンス ・ヘルプ
	5	アプリロック設定	ユーザが任意の値（1-32文字の半角英数字）を設定し、アプリロック設定を登録していた。	設定のON/OFFがトグルの切り替えのみに変更された。 バージョンアップする際にアプリロック設定の有効/無効は引き継がれるため、バージョンアップに伴う事前の設定変更は不要。 アプリロック解除に関するものは項番2参照。
	6	トークン追加	1つの画面内で、「サービスID」、「ユーザID」、「利用開始パスワード」を入力していた。 同意チェックボックスあり。 最後の通信を行う際のボタンが「送信」ボタン。	トークン追加画面が3ステップに分割（『サービスID』『ユーザID』『利用開始パスワード』の入力項目に変更無）。 Step1で「サービスID」を、Step2で「ユーザID」、「利用開始パスワード」を入力し、Step3で追加するように変更された。 サービスID入力欄にサジェストが追加された。 同意チェックボックスが廃止。 最後の通信を行う際のボタンが「トークンを追加する」ボタンに変更。
	7	トークン削除	「設定メニュー」から「トークン削除確認画面」へ移動。 「トークン削除確認画面」からは登録済みの任意のトークンを選択し削除が可能だった。 登録済みトークンを全て削除した場合、「全トークン削除完了画面」が表示された。	「OTP画面」の「トークンメニュー」から「トークン削除確認ダイアログ」に遷移するように変更された。 「トークンメニュー」は各トークン毎の項目となるため、表示しているトークンの削除を行うように変更された。 「全トークン削除完了画面」が廃止され、「トークン未登録画面」に遷移するように変更された。
	8	バージョン情報	以下の内容が表示されていた。 ・アプリバージョン ・オープンソースライセンス	それぞれ下記の機能へ移動。 ・アプリバージョン → 「設定メニュー」下部に記載 ・オープンソースライセンス → 「オープンソースライセンス画面」へ移動
3.新機能	1	トークン未登録画面	—	トークンが未登録の場合、トークン追加画面ではなくトークン未登録画面からスタートする形となった。
	2	言語設定	—	アプリ内の言語設定が可能となった。
	3	外観モード設定	—	アプリ内の外観モード設定が可能となった。